

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年2月15日 (2018.2.15)

【公開番号】特開2016-138201(P2016-138201A)

【公開日】平成28年8月4日 (2016.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-046

【出願番号】特願2015-14587(P2015-14587)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/30 (2014.01)

C 0 9 D 11/101 (2014.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/30

C 0 9 D 11/101

B 4 1 J 2/01 5 0 1

B 4 1 M 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月27日 (2017.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

これに対し n を 3 ~ 5 とすることで、布帛に対するインクジェットインクの良い染み込みを確保しながら固形分の溶解性を向上してその析出を防止し、析出に伴う上述した各種の不良が発生するのをより一層確実に防止できる。また皮膚刺激性も抑制できる。

なお、かかる効果をより一層向上することを考慮すると n は 4 であるのが好ましい。

上記第 1 のモノマーとしては、例えば

・ 式 (a) 中の R^1 が水素原子で、かつ n が 4 である 4 - ヒドロキシブチルアクリレート [4 H B A、ガラス転移温度 $T_g = -40$]、

・ 式 (a) 中の R^1 が水素原子で、かつ n が 5 である 5 - ヒドロキシペンチルアクリレート (5 H P e A)、

ならびに 2 - ヒドロキシプロピルアクリレート [2 H P A、ガラス転移温度 $T_g = -7$] からなる群より選ばれた少なくとも 1 種が挙げられる。特に 4 H B A が好ましい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 8】

ベンゾフェノン、ヒドロキシベンゾフェノン、2 - クロロベンゾフェノン、4, 4 - ジクロロベンゾフェノン、4, 4 - ビスジエチルアミノベンゾフェノン、4, 4 - ビスジメチルアミノベンゾフェノン (ミヒラーケトン)、4 - メトキシ - 4 - ジメチルアミノベンゾフェノン、特開 2 0 0 8 - 2 8 0 4 2 7 号公報の一般式 (1) で表されるベンゾフェノン化合物等のベンゾフェノン類またはその塩。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

チオキサントン、2 - クロロチオキサントン、2 - メチルチオキサントン、2 - イソプロピルチオキサントン、2 , 4 - ジエチルチオキサントン、4 - イソプロピルチオキサントン、イソプロポキシクロロチオキサントン、特開2008 - 280427号公報の一般式(2)で表されるチオキサントン化合物等のチオキサントン類またはその塩。

エチルアントラキノン、ベンズアントラキノン、アミノアントラキノン、クロロアントラキノン等のアントラキノン類。